

金谷コミュニティ委員会ニュース

令和2年 No.157
10月号

ほほえみ

発行：金谷コミュニティ委員会
金谷地区17自治会から拠出されている
コミュニティ会費で発行しています。

11月12日(木)、OPEN!

県下最大級のマルシェを含む複合施設 (KADODE OOIGAWA) 自社調べ 「KADODE OOIGAWA」

大井川鐵道の新駅 「門出駅」同時開業!



かねてより整備が進められていた、大井川農業協同組合、島田市、大井川鐵道株式会社、中日本高速道路株式会社との4者連携による賑わい交流拠点がいよいよ門出の日を迎えます。

「KADODE OOIGAWA」は日本の緑茶と大井川流域の農産物の体験型フードパーク。農産物直売所、カフェ、子どもの遊び場、レストランが設置され、島田市が整備する「おおいなび(物販兼観光案内所)」も併設されます。

同時に、KADODE OOIGAWAレストラン棟の隣に、大井川鐵道では35年ぶりの新駅が設置されます。その名も「門出駅」。日切駅～合格駅(五和駅改称)～「門出駅」という、緑色の良い路線が誕生します。(五和駅改称については2面に記事があります。)

金谷地域の新たな財産として、みんなで盛り上げていきましょう。



第39回金谷茶まつり さらに1年延期

9月24日(木)、正副会長・部会長・地域委員長・支部長・道中長および川越し太鼓保存会長合同会議において、新型コロナウイルスの感染等を心配することなく、安心して茶まつりを実施するため、令和3年4月に延期した開催日程をさらに1年延期することが承されました。

※令和4年4月の開催判断は来年9月又は10月の予定。
金谷茶まつり保存振興会

第13回 ほほえみウォーク 開催中止について

11月23日開催予定でしたが、今年は中止いたします。
金谷コミュニティ委員会

牧之原公園 マルシェ

●**テイクアウトランチ祭り**

10月25日(日) 10:00～14:00 雨天中止

【出店】いしだ屋(本町)・りなむ(中町)・なかだっち(菊川)・ルイジアナママ(富士見町) お持ち帰りのほか、コーヒー・手作り小物など、牧之原公園の風に吹かれながらランチタイムをお楽しみください。

牧之原公園マルシェのフェイスブックで確認ください!

再開します!

お問い合わせ 牧之原公園マルシェ実行委員会 (金谷コミュニティ委員会内) ☎090-6098-1181(渡邊)

ほほえみ奮戦記 vol.115 by よっちゃん

今年度の五和小学校のPTA会長はモンゴル出身のニムジャムンフバトさん。日本人女性と結婚し、林業をするために16年前に来日。その後大代に移住されました。小6と保育園の女の子のお父さん。

島田市国際交流協会の会員で、国際交流フンドシップパーティーにも参加しています。

モンゴル語の講師でもあり、今はリモートで行っています。

子どもは地域の「宝」です。少子化を少なくするための「宝」を地域で温かく見守って行きましょう!

このため、来年3月に予定していた選定事業者との業務契約は令和3年9月に、その後、設計業務が始まり、施設整備を経てオープン予定は令和5年10月1日になる予定です。

なお、市が施工する旧金谷庁舎建物の解体については、予定どおり今年度設計を行い、来年度工事を行う工程に変更はありません。



左から、小林正二 KADODE OOIGAWA 株式会社代表取締役、増田政光 大井川農業協同組合代表理事組合長、染谷嗣代島田市長、鈴木肇大井川鐵道株式会社代表取締役社長。それぞれの施設の開業日や魅力が紹介され、大井川鐵道の鈴木社長からは五和駅の改称も発表されました。(1面・2面に関連記事)

旧金中跡地の未来について語り合しましょう!!

旧金中跡地のアウトレットモール建設計画の中止が発表されました。旧金中跡地は、40年以上にわたり現在のよな状態が続いています。計画が中止されたのは残念ではありますが、もう一度地域住民の希望を活用計画に反映してもらえませんか。そこで、金谷コミュニティ委員会では、旧金中跡地の今後の活用に関しより多くの皆様のご意見・アイデアをお聞きするために、ワークショップを開催します。

そして、ワークショップで出た意見を行政に届けていきたいと考えていますので、ぜひ多くの皆様の参加をお願いします。

ワークショップのご案内

日時 11月18日(水) 19時開始

場所 金谷公民館「みんくる」2階集客室

◆参加希望の方は、住所・氏名・電話番号をメールにてご連絡ください。
担当者：増田直樹
Mail: nao@zoshoinfo
電話：090-5618-2565
申込期限：11月6日(金)
主催：金谷コミュニティ委員会 地域振興部会(まちづくり委員会)

旧金谷庁舎について、島田市は今年11月、金谷地区生活交流拠点整備運営事業として「PFI方式(民間の資金とノウハウを活用して行う公共事業の手法)」により施設整備・事業運営を行うとの方針を発表(今年2月号ほほえみ参照)。計画では、4月下旬に特定事業の選定・公表、6月下旬には正式に募集要綱等を公表する予定でしたが、全国的に新型コロナウイルスの感染が拡大し、緊急事態宣言の区域が全都道府県に拡大されるタイミングに当たってしまったため、今後の全体スケジュールを当初から6ヶ月先送りすることになりました。

このため、来年3月に予定していた選定事業者との業務契約は令和3年9月に、その後、設計業務が始まり、施設整備を経てオープン予定は令和5年10月1日になる予定です。

なお、市が施工する旧金谷庁舎建物の解体については、予定どおり今年度設計を行い、来年度工事を行う工程に変更はありません。

障がい者と地域を結び 第3回絆フェスタ maru

事業所の紹介 手作り品販売 きずな市場

11月7日(土) 8日(日)
金谷北交流センター多目的ホール

11月14日(土) 15日(日)
金谷地区社会福祉協議会(宮崎町)

10:00～14:00

主催：金谷地区社会福祉協議会
後援：島田市自治会連合会 金谷地区会 金谷コミュニティ委員会

絆フェスタ「マル」が11月に開催されます。住民と障がいのある皆さんとの相互理解を行う、偏見のない明るい地域づくりを目的に開催し本年度は3回目になります。今年度は少しでも多くの人に知っていただくため、金谷北交流センターと金谷地区社協事務所の2か所で行います。事業所紹介コーナーと事業所利用者の手作り品やほりだしなどがたくさんある販売コーナー「きずな市場」の開催です。見て触れてほっこりする時間を過ごしましょう。

〒428-0012 島田市金谷代官町3400 島田市金谷防災センター内 FAX 0544714610331

http://www4.tokai.or.jp/kanaya Email kanaya@cov.tvc.ne.jp

こんにちは！
金谷高校です (118)

藤枝平和展
(書道部3年 伊勢 咲蘭)

私が3年間の部活動を通して学んだことは周りとの協力すれば大変なことも乗り越えられるということです。特に3年生最後のパフォーマンスでそれを実感しました。

今年は、コロナ禍ということもあり、パフォーマンス活動ができるのか不安でしたが、周りの方々の協力のおかげでとても素晴らしい舞台を用意して頂けて嬉しかったです。自分たちの最後の作品を見た時は、達成感と、部活が終わってしまうという実感が湧いてきました。改めて周りの方々、部員に感謝したいです。



お問い合わせ先 金谷高校 TEL 0547-45-4155

かなや物語 (85)

つながる金谷人のエッセイ
カタクリと出会って
近藤 容子さん(竹下)

小学校六年生の時に転居してきて六十有余り、すっかり金谷弁の達人となりました。

勤務年数の三分の二を金谷町内で勤めさせていただいたので、退職後は、金谷のために何かとやらはと、誘われたこと、頼まれたこと、できる限りお手伝いさせていただきました。そうして「かなや物語」に参加しました。

そのうちの二つが「金谷野の花の会」の皆さんとの牧之原公園内のカタクリの保護活動のお手伝いです。

水河期の生き残りと言われ、絶滅危惧種のこの花が、温暖なこの地に、しかも他の地域とは異なる林床に自生しているという不思議な植栽しないだけでこれだけの広さで自生している所は、静岡県内には、ほかには見つかっていません。

現在、牧之原公園内のカタクリ園の環境も厳しくなっています。そんな中で、懸命に可憐な花を咲かせているカタクリにどう手をさしのべていけばいいのか難しい問題ですが、せつなくあれだけの広さで保護され続けてきたのですから、これからも地域の宝として、地域みんなの手で守っていくことが大切だと思います。

「野の花の会」の仲間に加わってくださることを願っています。

企画展
ふじのくに茶の都ミュージアム

菓子珊瑚
茶人が選ぶお菓子と器

令和2年 10月31日[土] - 2月8日[月]
【開館時間】9:00~17:00(入場16:30まで)
【観覧料(常設展・企画展共通)】
大人(15歳以上)300円、大学生以下無料
【休館日】火曜日(祝日の場合翌平日)、年末年始

ふじのくに茶の都ミュージアム ☎46-5588

アラスカの自然・野生とオーロラ映像と講話

福用の古民家「野菊の宿」写真展

オーロラが 私たちに語りかける すてきなメッセージ
2020 in 島田市

～私たちはオーロラ舞う奇跡の惑星に生かされている～

入場無料
「古民家再生協力金」として
ご篤志のご協力をお願いします

おざわあつこ
オーロラ写真展
10月17日(土)～23日(金)
時間：10時～16時
入屋絵 小枝アート展示 (同時開催)

1回目：満席
2回目：開場 13:30 公演 14:00-15:30
3回目：開場 17:30 公演 18:00-19:30
※20席 先着順 早めのご来場をおすすめします

ほほえみ **トランポワーク教室**

今年度後期はお休みします。
来年度から再開しますので、よろしくお願いたします。

チームおもしろ五和駅
今年も、10月中頃より五和駅周辺にかかしを展示します。
個性豊かなかしの登場をお楽しみに！
今月号のお茶室通信は休載いたします。

お悔み申し上げます
町名・死亡者氏名・死亡日・年齢
氏名は常用漢字で表記しています
(八月十二日から九月十日まで)

横岡	菊川	緑町	中町	城山町	島	東二丁目	横岡	竹下
加藤	北川	塚本	岡平	杉浦	曾根	秋山	鈴木	下島
泰一	安次	つね子	症	とし	恵子	芳平	良平	光雄
9/10	8/30	8/30	8/28	8/28	8/20	8/18	8/18	8/17
76	96	82	83	96	66	97	95	78

★市役所に死亡届を提出された際、ほほえみへの掲載を承諾された方のみ掲載しています。

大井川鐵道株式会社
鈴木肇社長にインタビュー

五和駅の名稱が「合格駅」に変わります。

このことについて、大井川鐵道(株)の鈴木社長にお話を伺いました。

「駅名を変えるのはなぜ？」
このたび、賑わい交流拠点にオープンする商業施設「KADODE OOI GWA」に隣接して新駅「門出駅」を設置しますが、五和駅は、駅内有効の合格祈願スポットである日限地蔵尊の最寄り駅の日切駅があり、「日切駅」「合格駅」「門出駅」という縁起をつなぐストーリー性のあるエリアを創出することで、全国的な知名度を上げたいと考えています。

「駅名を変えるのは、大きな決断だったのでは？」
そのとおりです。五和駅は、大鉄開業当時から長きにわたり、地域の皆様と親しんでいただいた名前です。で、正直、悩みました。今年の6月末から、五和地区の自治会長の皆さんにこの方針をご説明させていただいたところ、ご理解をいただくことができた。

「五和駅の名稱を」残してほしい」というご意見をいただきました。

「チームおもしろ五和駅」の活動については、「合格駅」の看板や、「合格地蔵尊」の安置をはじめ、チームの皆さんの熱意によって合格祈願のスポットになっていたというところも、今回の縁起の良い駅名を連ねると、今の縁起の良い駅名になりました。季節ごとの装飾など、五和駅を愛してくださる皆さんに感謝しています。

「五和駅」の歴史をどう残す？」
「五和駅」の名や改称の経緯などの情報を、地域の合格祈願スポットを紹介する地図等と共に駅構内に看板で設置するなど、五和駅と五和地区の歴史を未来に伝える方法を検討していきます。

五和という地名は今もありませんが、その名前は小学校や保育園、幼稚園、自治会名のほか、様々な事業所に使われており、若い住民の方たちの中には、なんとなく、あの辺？という認識の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

「五和の名前の起源」
戦国時代末期に行われた「天正の瀬替え」という一大土川河原に、大井川右岸にできた広い河原に、新たに横岡新田、島、竹下、牛尾、番生寺村の志戸呂五ヶ村が開発されました(金谷町史・地誌編より)。

竹下自治会長 渡邊良和さん
改称のお話を伺い、大変驚きでしたが、新駅の門出駅や日切駅と一体となって地域を盛り上げるためのネーミングと知り、大井川鐵道の経営の発展と地域の活性化が期待できるという気持ちで強くしました。合格駅とKADODE OOI GWAの地元地区として、住民が一体となって応援しながら、地域活性化に努力していきたいと考えています。

「チームおもしろ五和駅」
益長(えみちよ) 渡辺啓史さん
語呂合わせの「あそび」から始まった活動ですが、チームの皆さんと一緒に、受験シーズンはもとより、オリンピック選手の応援などを、心をこめて「合格駅」の活動を続けてきたので、改称はびっくりしましたが、うれしいです。ローカル線が目玉され、客足が増えれば地域も活気づくと思います。

時代がすすむ中で、元志戸呂を含めたこれらの地域は総称して「五和」と呼ばれるようになっており、明治22年に町村制が施行された際、横岡 大代、志戸呂、神尾、福用、高無の六つの村が加わって、「五和村」という名前がつけられました。

昭和32年、旧金谷町と合併した際に、五和村の名前はなくなりましたが、明治、大正、昭和の時代にこの土地で生きた人たちの歴史は、いまなお、「五和」の名前のなかに息づいています。

9/27(日) 島田市諏訪原城応援隊 結成

島田市は、城好さ落語家の第一人者・春風亭昇太郎師匠を隊長とする諏訪原城応援隊を結成しました。

隊長：春風亭昇太郎師匠
副隊長：加藤理文氏(日本城郭協会理事、諏訪原城跡整備委員会委員)
隊員：片川乃里子氏(フリーアナウンサー)

諏訪原城 足軽応援隊も結成!
島田市(旧金谷町)が誇る諏訪原城に応援隊が結成されました。私たちが地元住民として参加して盛り上げたいと「足軽応援隊」を作りました。隊長(会長)は郷土史に詳しい植野修さん。諏訪原城跡と周辺の歴史を学んだら、お城にちなんだゲーム(スポーツチャンバラや、のろしの体験等)などで諏訪原城を楽しむ予定です。みなさんも一緒に諏訪原城を楽しみましょうか? (参加方法) QRコードを読み取り、お名前とお住まいの市町(島田市等)を入力して送信してください。取り組みのご案内をお送りします。

金谷コミュニティ地域振興部会

大鉄福用駅に「高福地蔵尊」設置

眺望で登山者に人気の八高山(標高832m)。その登山口になっている大鉄福用駅に、登山者の安全を祈願するお地蔵様が設置されました。高さは約60cmの木彫りの地蔵は、個人が保管していたもので、右手に錫杖、左手に水瓶を持ち、登山者に必携の杖と水瓶を象徴した姿です。地名の高無と福用の頭文字から「高福地蔵尊」と名付けられました。



季節ハズレの「わらび」出現

令和2年9月14日、大井川上町朝日橋付近の土手に「わらび」が生えているのを発見。「わらび」も最近の異常気象に季節感が失われてしまったのでしょうか?



令和2年9月15日午前9時撮影 撮影者：水野誠さん(天王町)